

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回川島町総合振興計画審議会	
開 催 日 時	平29年4月20日（木）午後2時00分から午後3時35分	
開 催 場 所	川島町民会館 研修室	
議 題	(1) 川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について (2) その他	
公開・非公開の別	公 開（傍聴者1名） ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	西村委員、牛村委員、五島委員、今井委員、岩山委員、大野清子委員、小島委員、清水和明委員、清水正彦委員、宮崎委員
	事務局職員	政策推進課 石島参事兼課長、石川主幹、道祖土主査、品川主事
配布資料	会議次第、資料1～2	
審議会等の内容・概要		
<p>1. 開 会</p> <p>（事務局より会議の開会にあたり、3月17日開催予定であったが、欠席委員多数により不成立となり改めて開催したもので、委員の任期についても本会議の開催にあたり、任期を4月20日まで延期させていただいた旨を説明する。また、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録を公開するが、発言者名は記載しない旨で委員より了解を得る。）</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。大野清子委員と今井委員に願います。</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について</p> <p>（事務局にて、資料1、2を用いて説明。基本目標ごとに意見をいただく。）</p> <p>○基本目標1【若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実】</p>		

委員：子育て支援情報はどのような方法で周知しているのか。

事務局：基本は町の広報紙、ホームページで周知を図り、母子手帳受領時、検診などで情報を提供している。

委員：子育てで頼る人が近くにいない方もいるので、その時だけでなくきめ細かい周知が必要ではないか。

事務局：子育て支援総合センターかわみんハウスでの利用を促して、不安の解消に努めていきたい。

委員：学童の待機児童は0（ゼロ）とあるが、保育園の待機児童の状況はどうか。

事務局：本町では待機児童0（ゼロ）である。

委員：川島中は3学級で25名程度となっているが、西中の状況は。

事務局：国基準以上の生徒数のため、3学級となっている。

委員：川中の状況は。

委員：今年の1年生が78名となっており、1学級当たりの生徒数を35人基準にしたことで3学級を維持している状況である。

事務局：国基準を下回った場合でも町費負担で教員を配置し、きめ細かい教育を推進していきたい。また、小学校も同様に考えている。

会長：全体に関わることだが、評価について、評価基準と各指標の評価が上手くかみ合っていないのではないか。評価が難しいのは重々承知しているが、誰が判定しても同じ評価ができるように、評価基準の見直しと評価の適正化を次の会議で示していただきたい。

事務局：総合戦略、総合振興計画の評価など、納得いただけるよう見直しを図っていく。

○基本目標2【地域産業の活性化と雇用の創出】

委員：川島インター産業団地内で未着工の企業はあるのか。

事務局：3区画が建屋の着工までには至っていないが、全ての区画が企業の保有地になっており、保留地はない。

○基本目標3【子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり】

委員：婦人向けのトレーニングセンターが流行っているが、お金をかけないでどこで

もできるものもあるので、健康に暮らせることが一番であることを啓蒙することが大事である。

会 長：サロンを1か所設置したものの、他の地域に広げることは難しいとあるが、地域的な特性があるということか。

事務局：住居が点在している地域など集まる場の選定が難しい。

委 員：車社会なのでバラバラではなく、今後のことを考えると1か所にまとめた方が効率的という考えもある。複合的な施設として利用していくのもいいのではないか。

事務局：インター南側地区開発などの参考にしていきたい。

委 員：筋力アップ教室に通っているが、車で行けるので1か所にまとめるという考えは一理あると思うが、いつまで運転できるか、お年寄りの事故を見聞きすると車に乗れたとしても周りの事を考えて乗らないという選択をした場合を考えると近くにあるというのも必要と考える。

委 員：車いすの方の病院の送迎をやったことがあるが、行政が担うにも財源に限りがあるので、住民相互に助け合うことが大切である。

事務局：川島町社会福祉協議会の事業だが、安心お助け隊による病院や買い物の送迎と付き添い行っている。また、町民の移動支援として、かわみんタクシーのテスト運行経て、平成29年1月から本格運行を始めたが、75歳以上の方や運転免許証返納者は300円で利用できるようにしている。登録者は250人からスタートし、現在1,400人の方に登録をいただいている。

委 員：健康★筋力アップ教室の評価項目に載っていないが、平成28年度からかわべいきいき体操を地域の公民館、集会所で実施している。

事務局：総合戦略を当初策定した頃から社会情勢の変化などにより取り組み内容なども変わってきているので、必要に応じて戦略の改訂やサブ指標の見直しを図っていく。

○基本目標4【人を呼び込む観光・交流の活性化】

委 員：平成の森公園観光化事業の具体的な取り組みは。

事務局：イルミネーションを実施した。また、旅行会社が集まる場に遠山記念館の職員の方と参加し、大型バスで来られる場所にニーズがあることや川越市内で1日

過ごすことが難しいという話を聞いたので、川島町を観光バスルートの一つとして利用してもらうよう PR し、基本目標である「人を呼び込む観光・交流の活性化」を推進していきたい。

委員：総合戦略の事業費の総額はどの位か。また補助金はどの程度か。

事務局：事業費総額としては、平成 28 年度で約 2 億円程度となっている。補助金は、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金を合わせて約 40,000 千円の交付金を受けている。

委員：ビオトープも観光地になると思うが、トイレや水道などの整備計画はあるのか。

事務局：出丸小の跡地利用の中で国の支援をいただきながら検討を進めていくことも考えられる。

委員：こども 110 番の家の認識 100%とあるが、子どもたちにどのように理解させているのか。

委員：一斉下校の際に通学路の途中の 110 番の家にあいさつをして帰るようにしている。

事務局：各学校も同様である。

委員：防犯カメラの設置を行政が働きかけるのは難しいのか。


事務局：各学校や保育園に設置しているが、プライバシーの関係もあるので、公共施設に設置する場合は、防犯カメラを設置している旨を表示するようにしている。

(2) その他

(事務局にて、第 5 次川島町総合振興計画前期基本計画評価報告の説明(報告))

事務局：平成 28 年度が始期となる後期基本計画についても、進捗状況や評価について今後の審議会において報告をさせていただく予定である。

4. 閉会

署名	今井 敏美 
	大野 清子 